



平成 22 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 横河電機株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 海堀 周造  
コード番号 6841 東証第一部  
問い合わせ先 広報・IR 室長 吉川 光  
Tel 0422-52-5530

### 平成 23 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の業績予想修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表した平成 23 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

平成 23 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間 業績予想数値の修正  
(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	155,000	0	△2,000	△4,000	△15.53
今回発表予想(B)	154,000	2,000	0	△3,000	△11.65
増減額(B)-(A)	△1,000	2,000	2,000	1,000	3.88
増減率(%)	△0.6	—	—	—	—
(参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	150,655	△2,380	△4,102	△14,535	△56.43

#### 修正の理由

主要事業である制御事業につきましては、海外市場において、引き続きエネルギー関連への活発な投資が期待できることから、同事業の第2四半期連結累計期間の受注高予想を60億円上方修正しましたが、この受注増分は第3四半期以降の売上となることから、第2四半期連結累計期間の売上高予想は変更していません。営業利益予想は、売上原価率の改善及び費用の削減が見込まれることから10億円上方修正しました。計測機器事業につきましては、測定器ビジネス及びフォトニクスビジネスで増収が見込まれるものの、メモリ前工程向けテストの需要回復が第3四半期以降となり、半導体テストビジネスで減収となることが予想されることから、計測機器事業全体では第2四半期連結累計期間の売上高予想を10億円下方修正しました。また、営業利益予想につきましては、減収を上回る費用の削減が見込まれることから、第2四半期連結累計期間の営業利益予想を10億円上方修正しました。その他事業につきましては、売上高、営業利益予想とも前回から変更はありません。

これらの結果、全社では第2四半期連結累計期間の売上高予想を10億円下方修正する一方、営業利益予想を20億円、経常利益予想を20億円、四半期純利益予想を10億円それぞれ上方修正しました。

なお、通期の連結業績予想に関しましては、今回見直しを行わず、第2四半期連結累計期間の決算内容を踏まえ、改めて見直しを行うこととします。

(注)連結業績予想の為替レートは、1米ドル=90円、1ユーロ=110円を前提としています。

以 上

(参考)報告セグメント別 業績予想

第2四半期連結累計期間 受注高 (単位:百万円)

	前回発表予想(5/14)	今回予想	増減
制御事業	132,000	138,000	6,000
計測機器事業	19,000	19,000	—
その他事業	11,000	11,000	—
合計	162,000	168,000	6,000

第2四半期連結累計期間 売上高 (単位:百万円)

	前回発表予想(5/14)	今回予想	増減
制御事業	125,000	125,000	—
計測機器事業	19,000	18,000	△1,000
その他事業	11,000	11,000	—
合計	155,000	154,000	△1,000

第2四半期連結累計期間 営業利益 (単位:百万円)

	前回発表予想(5/14)	今回予想	増減
制御事業	5,500	6,500	1,000
計測機器事業	△5,000	△4,000	1,000
その他事業	△500	△500	—
合計	0	2,000	2,000